



敬天愛人講座実施

3/18（月）、今年度第2回の「敬天愛人講座」を実施しました。入学以来の通算でいうと、これで第6回ということになります。

今回は「稲森和夫先生の語る『敬天愛人』に学ぼう」というテーマで講座を行いました。先生は京セウの創業者として、また日本航空名誉会長として、大変に高名な実業家ですが、一方で国内の「敬天愛人」思想の第一人者としての側面もお持ちです。

今回講義の中心をなしたのは2007年12月11日に「盛和塾」で行われた講演「西郷南洲に学ぶリーダーのあるべき姿」より、『南洲翁遺訓』の解釈について先生が語られた部分の数々です。中でも、

- ・「遺訓の26番目には『己れを愛するは善からぬことの第一也』、つまり、自分を愛することはよくないことの筆頭だと述べています。」
- ・「西郷南洲の思想には、『無私』という考え方が一貫して流れています。……そのような西郷の思想が最も明確に表れているのが、『命もいらす、名もいらす、官位も金もいらぬ人』で始まる遺訓集の30番目です。」

という部分に着目をしました。

一般に「敬天愛人」の中の「愛人」の部分の解釈として「自分が自分自身を愛するように、他の人を愛しなさい」／「天が自分を愛してくれるのと同じように、自分も人を愛しなさい」と解釈が割れるところなのですが、今回講座では後者の解釈をとりあげました。

また、少し言葉を置き換えて（高校生に受け取りやすいように）、

「この世界が自分自身を大事にしてくれるのと同じように、自分も他の人を大切に扱いなさい」など、やや砕けた言葉でいくつかの解釈を示しました。

次回「敬天愛人講座」は3年生への進級後です。皆さんは私立学校の生徒ですから、「建学の精神」である「敬天愛人」という言葉とその思想を大事にしてほしいと願います。



稲森和夫先生

